令和3年度大学陳情結果報告

全国商業高等学校長協会大学入試対策委員会

国公立大学陳情結果報告

大学名	学部・学科	面会者（役職）	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
島根大学		学長 総務部総務課長	総合理工学部 令和3年度から総合型選抜入試の1名枠が設けられたが、人数枠拡大を要望し、令和4年度は4名に拡大された。 更なる定数枠の拡大、全商検定試験1級取得者への加点を要望した。 法文学部 更なる定数枠の拡大、全商検定試験1級取得者への加点を要望した。 法経学科について、商業関係高校生徒に対する推薦入学制度の導入、資格取得等の重視を要望した。

私立大学陳情結果報告

大学名	学部・学科	面会者（役職）	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
神奈川大学		入試センター事務部長・次長	商業関係高校にも指定校推薦として推薦指定している。（入学者の3割が指定校） 指定校推薦での入学者については非常に優秀な学生が多く、GPAの高い生徒が多く、学業に対して前向きな学生である。 入学者確保の観点から推薦入試の枠は今後も維持していく必要性がある。 全商特別推薦についても前向きに検討させてもらう。
神田外語大学		アドミッションセンターチーフ・シニアマネージャー	商業科生徒に特化した推薦はないが、商業高校への指定校推薦は実施している。 国際ビジネスキャリア専攻の募集枠30人を変える予定はなく、全商特別推薦枠も現状を維持する。 全商特別推薦で入学した生徒は、国際ビジネスキャリア専攻に所属する。本専攻科では、商業に関する学びを取り入れているが、 全商推薦の生徒は、入学時に商業の基本が身に付いているので、入学後は他の学生を指導してくれている。担当教官は、この点を高く評価している。そのため、全商特別推薦の制度は、本学でも利益があり、今後も続けていきたい。
國學院大學	経済学部	総合企画部入学課長	昨年度からネットワーク学科がなくなり、経営学科で6名募集している。 これまで全商協会の特別推薦で入学した生徒たちは、他の選抜方法で入学した生徒と比較しても、特段遜色ない成績を修めている。 全商協会の特別推薦は、来年度以降も継続していく予定であり、募集人数は6名を予定している。 商業高校からの入学者は、普通科出身の生徒と一緒に学んでおり、簿記会計に関する学習を牽引している。
駒澤大学	経済学部・経営学部	入学センター入試課長	経営学部から全商協会特別推薦をスタートし、経済学部にも推薦枠を広げてきた。 これまで特別推薦で入学してきた生徒たちは、資格を取得して入学してくる強みがあり、優秀な生徒が多い。全商協会の特別推薦は、今年度と同様の募集人数で、来年度も継続する予定である。 商業高校卒業生は、他の入学生と一緒に授業を履修してもらっている。全国各地様々な校種から入学してくる学生と一緒に学ぶことで視野を広め、学びを深めていってほしい。
専修大学	商学部 経営学部	教務部教務課長・商学部長	全商協会の特別推薦は、来年度以降も継続していく予定であるが、高校に偏りがないよう、他大学の状況も参考に1校あたりの推薦人数について検討したい。 商業高校等に対する指定校制度を設けており、可能な範囲で商業を学んでいる生徒を受け入れている。 商業を学んだ生徒は、学習意欲が高く、簿記等で他の生徒を牽引している。 商学部が神田校舎に移転され、通学可能範囲が広がったが、できれば全国各地から生徒を受け入れていきたい。

大学名	学部・学科	面会者（役職）	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
千葉商科大学		入試セクション課長	指定校推薦 公募制検定資格評価型　学習成績3.0以上、本学指定の検定4ポイント以上 総合型選抜検定資格評価型 指定校の割合が大きいが、公募制と総合型を合わせて入学者の大部分を占める。 全商協会の特別推薦は、現状の人数を維持する。なお、人間社会学科の応募がゼロであった。本学科の特別推薦は導入したばかりだが、ゼロが続くようであれば他の枠に移行することを検討する可能性もある。
中央大学		事務室副課長	商業関係高校に指定校推薦として推薦指定している。（全国30校程度） 指定校推薦での入学者については比較的優秀な学生が多い。前向きな学生である。 普通科高校出身の教育実習について、実習校の協力をお願いしたい。全商協会にお願いして対応してもらった経緯もある。
東京経済大学		総合企画部入試課長	次のような受験生のそれぞれの特色を生かした入試方法を実施している。 ○ 全商協会特別推薦選抜○ 経営学部簿記資格取得者選抜 ○ 資格取得者選抜○ 指定校推薦選抜　○ スカラシップ選抜等 全商協会の特別推薦は、次年度以降も推進したいと考えている。 コロナ禍で分かったことだが、商業科出身の学生は主体的に学ぶ力のある学生が多い。今後も多くの商業科出身の学生に入学してもらいたいと考えている。
獨協大学	経済学部	入試部入試課長	全商特別推薦については、商業高校に対する指定校推薦と同じ枠組みで受け入れており、毎年優秀な生徒を推薦していただいている。全商特別推薦で入学している生徒には入学後に免除科目があるため、その分他の科目を履修して頑張っている。 入学後もモチベーションが高く、自らを高めようとする学生が多い。 全商特別推薦については、数年前に枠を拡大しており、引き続き来年度も同じ規模でお願いしたい。
日本大学		入試管理委員会委員長 （商学部教授）	学校推薦型入試から、総合選抜型入試に舵を切ることを検討している。多角的に評価して合否を判断したい。また、早く進路を決めたいと考える受験生が多く、学校推薦型入試では時期が遅くなるため出願者が思ったより増えていない状況にある。 指定校入試の枠は維持したいと考えている。入学後の評価によって、指定先の見直しを行っている。 高大連携を推進したい。まずは、指定校の先生方と、何ができるかいろいろと情報交換をしたい。 全商特別推薦や指定校入試で入学した学生は優秀な者が多い。
法政大学		入学センター次長・ 課長	キャリアデザイン学部において「商業学科等対象公募推薦入試（現役生・専願のみ）」を行っている。 全商協会の特別推薦で入学した生徒たちは、学習に対する姿勢もよく、GPAも高い数値を得ている。 全商協会の特別推薦は、来年度も継続していく予定であり、公募推薦についても積極的に広報していきたい。
武蔵大学		経済学部教授	毎年、指定校の推薦人数等については見直しを行っているが、文科省の指導もあり、総数を増やせないのが実情である。全商特別推薦については今年度からなので、入学生の状況を見ながら検討していきたい。 商業高校からの入学生はGPAも高く、優秀な学生が多い。中には飛び級（3年間）で卒業し、大学院に進学した者もいる。 入学前から「簿記・会計」や「Excel」等を学んでいるので、教える側も指導しやすい。 なお、英語等の基礎学力向上の為の特別講座は、学力に心配はなく、必要性がないため実施していない。